

ガレージやベランダでもできる～段ボール箱で生ごみ減量・堆肥化～

「生きごみさん」作り方・育て方①

準備物

- ・段ボール箱 (みかん箱ぐらいの大きさ)
- ・ガムテープ
- ・新聞紙 2～3部
- ・中袋 (特大の目の細い洗濯ネット、土のう袋等)
- ・腐葉土 20ℓ
- ・米ぬか 1kg
- ・スコップ
- ・水
- ・底上げ用の台 (ブロック・ペットボトル等)
- ・棒温度計 (あれば)



生きごみさんとは？

※
堺市が推奨する「生きごみさん」は、段ボール箱の中で土の中の微生物(好気性菌)等を活動させて生ごみを分解する、環境にやさしい生ごみ減量・堆肥化の方法で、ガレージやベランダなどでも気軽にでき、においが少ないことが特徴です。

さあ、チャレンジ

《生ごみ減量～堆肥化への3段階》

1.分解床を作る♪⇒ 2.育てる♪⇒ 3.堆肥にする♪

1.分解床を作る

1



2



3



4



中袋について



③の写真では黒色の不織布のカバンを使用していますが、特大の洗濯ネットや土のう袋などで代用可能です。中袋を使用すると、土を混ぜる時や箱の取り替え時に便利です。

❗ビニール袋など、通気性の悪いものは使わないようにしましょう。

5



①段ボール箱を組み立て、密閉しない程度に底を中央1本だけガムテープで止める。

※プラスチック製容器は通気性が悪いので向きません。

②新聞紙を2～3部、箱の底に平らに敷く。

③中袋を段ボール箱の中で広げ、腐葉土20ℓと米ぬか約1kgを中袋の中に入れ、ぬかが端に固まらないよう、土とよくかき混ぜる。

④水※を適量加え、よく混ぜる。

※「手で握ると固まってすぐに崩れる湿り具合」にしましょう。

⑤ペットボトルなどで底上げし、壁から離して、雨のかからない場所へ置く。中袋の口を閉じ、箱のフタをして、1～2日ほど寝かせる。

通気性を良くしてね!

この時、底上げをするのは、空気の通り道をつくるため。だから、段ボール箱の側面を、壁にびたっと付けて置くのもNGだよ!

「生きごみさん」
作り方・育て方②へ。

